

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2023 年 4 月 3 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所

〒 002-8054
札幌市北区篠路町拓北6番125
株式会社 札幌ロードメイク
(代表者名) 代表取締役 庄子 直美

氏名

(代表者名)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 第23条第3項 の規定により、環境保全行動自動車使用管理実施報告書を提出します。

報告期間		2022 年 4 月 1 日 ~		2023 年 3 月 31 日					
事業の規模	従業員数	10	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	26.5	kl			
	使用床面積	77.8	m ²						
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	9	台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	67.8	t-CO ₂	メタン	t-CO ₂	N ₂ O	t-CO ₂	HFC
非エネルギー起源CO ₂			t-CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	t-CO ₂	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署		担当部署名							
		担当者氏名							
		電話/FAX							
		電子メールアドレス							
計画書提出根拠		条例第13条 (環境保全行動計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第3項					
		条例第23条 (自動車使用管理計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項					
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ~		2025 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり							
備考									

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
紙使用量の削減	30000	5	30000	0	△						
	枚	%	枚	%							
事業活動に伴うエネルギー使用量の削減(電気)	7.462	5	6.677	11	○						
	千kwh	%	千kwh	%							
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)	5.127	5	5.463	▲7	×						
	KL	%	KL	%							
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減(軽油)	12.045	5	14.247	▲18	×						
	KL	%	KL	%							
不要な暖房の停止(灯油)	1.16	5	1.099	5	○						
	KL	%	KL	%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
紙使用量の削減	△	電子納品は引き続いているが、工事件数が前年度と同程度だった為、コピー用紙の購入数量に変化がなかった。
事業活動に伴うエネルギー使用量の削減(電気)	○	冬季及び夜勤が前年に比べて少なかった為、照明及び空調設備の使用が減少した結果と思われる。
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)	×	計画時と比較して、工期及び作業時間が長い工事を多く受注し、また地方への通いの現場が多かった事が原因と思われる。
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減(軽油)	×	計画時と比較して、工期及び作業時間が長い工事を多く受注し、また地方への通いの現場が多かった事が原因と思われる。
不要な暖房の停止(灯油)	○	冬季及び夜勤が前年に比べて少なかった為、暖房設備の使用が減少した結果と思われる。